

# 第3学年 社会科 学習構想案

日 時 令和元年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時  
 場 所 〇年〇組教室  
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

## 1 単元構想

単元名	「はたらく人とわたしたちの暮らし」		
単元の目標	(1) スーパーマーケットやコンビニエンスストアの仕事について、販売の仕方や他地域との関わり、他地域や外国との関わりなどを調べ、販売に携わる人々は、消費者の願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して販売していることを理解することができる。 (2) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。 (3) 主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①販売の仕事は、消費者の多様な願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりについて、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。	①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ②販売の仕事と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、主体的に問題解決しようとしている。 ②地域の人々の販売の仕事と、自分たちの生活との関わりについて考えようとしている。
<b>単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
販売に関わる仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解し、買い物をするときなど地域の消費者の一人として社会を見ようとする児童			
<b>単元を通した学習課題</b>		<b>本単元で働かせる見方・考え方</b>	
地域のお店ではたらく人の仕事の様子や工夫を調べて、仕事とわたしたちの生活とのつながりを考えよう。		販売の仕事に携わる人々と消費者との相互関係に着目して、販売の工夫について比較・分類したり、地域の人々の生活と関連付けたりすること。	
<b>指導計画と評価計画（13時間取扱い 本時12 / 13）</b>			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
課題発見	3	○家庭の買い物調べの結果から買い物の様子について話し合い、単元の学習課題を立てる。 ○買い物の経験や店内のイラストから、スーパーマーケットではどんな販売の工夫が見られるかを予想し、スーパーマーケット見学の計画を立てる。	【思-①】（方法：発言・ワークシート） ★【態-①】（方法：発言・ワークシート） ○学習課題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しを持つようとしている。
課題追究・課題解決	8	○売場、働く人、施設の工夫の3つの視点に分かれ、スーパーマーケットを見学、調査したり、店員やお客さんにインタビューしたりして、販売の工夫等について調べる。 ○それぞれのグループで、見学、調査したことやインタビューしたことをまとめ、発表する。 ○スーパーマーケットについて、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫をまとめる。	【知-①】（方法：観察・ワークシート） ★【知-②】（方法：発言・ワークシート） ○調べたことを、適切な写真や資料を使って、相手に伝わりやすいようにまとめている。 【思-②】（方法：発言・ワークシート）
新たな課題	2	○コンビニエンスストアにおける販売の工夫について考える。【本時】 ○コンビニエンスストアの店長にインタビューすることを通して、実際に取り組まれている販売の仕方などの工夫について話し合う。	★【思-②】（方法：発言・ワークシート） ○買い物の経験やスーパーマーケット、資料などを参考にしながら、コンビニエンスストアを利用しやすい理由について考えている。 ★【態-②】（方法：発言・ワークシート） ○コンビニエンスストアにおける販売の工夫について、既習事項や生活経験を生かし、意欲的に質問したり発表したりして、コンビニエンスストアにおける販売の工夫を考え、自分の言葉で表現しようとしている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
<p>本単元は、小学校学習指導要領第3学年の内容(2)にあたる。 「地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、販売の仕事の様子について理解し、調べたことや考えたことを表現することができる。」</p>				
教材・題材の価値				
<p>本教材は、消費者の願いを考慮した販売における工夫を考えたり、消費生活を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることに気づかせたりすることができる。また、地域の人々の販売の仕事を学習することで、地域社会における児童自身の消費生活について、より関心を高めさせることができる。</p>				
本単元における系統				
<p>3年 「わたしのまちみんなのまち」 身近な地域や市の様子を大まかに理解する</p>	<p>3年 「はたらく人とわたしたちの暮らし」 販売の仕事は、消費者の願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫している</p>	<p>3年 「はたらく人とわたしたちの暮らし」 生産の仕事は地域の人々の生活と密接に関わっている</p>		
<p>5年「わたしたちの生活と工業生産」 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう、工夫や努力をしている</p>				
<p>5年「わたしたちの生活と食料生産」 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりしている</p>				
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<p>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
調査活動や地図などの具体的資料を通して、必要な情報をまとめることができる。				
調査活動などを通して、考えたことや選択・判断したことを表現することができる。				
学習したことを自分たちの生活に生かそうとしている。				
<p>■本単元の学習に関する意識の状況</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
授業の始めに、学習の見通しを持ち、自分の考えを持っているか。				
今まで勉強したことを使って、新しい問題を解いているか。				
友だちの考えと自分の考えを比べて、聞いたり、発言したりしているか。				
<p>■考察</p> <p>児童は、グループに分かれて「まちたんけん」をした経験がある。校区内の地図を見ながら、訪問する場所にシールを貼ったり、書き込んだりしながら活動した。見学した施設でインタビューし、グループで伝える内容を考え、発表を行った。意欲的に取り組む反面、地図にまとめたり、インタビュー内容を自分の言葉として表現したりすることが苦手の児童も多い。そこで、本単元では、ワークシートの工夫等によってまとめ方を児童にとって取り組みやすいものにした。また、学習したことと自分たちの生活とのつながりをより意識させるための手立てが必要である。主体的・対話的な学びの視点から、学びの状況を見ると、既習事項の活用という点では意識が高いが、見通しを持つこと、自分の考えと他者の考えを比較したり、関連付けたりすることについてはあまりできていない。調査活動に入る前に、自分なりの予想や見通しを持たせたり、ジグソー学習によって他のグループとの違いを見つけさせたりする学習に取り組む必要がある。また、各家庭の買い物については、ディスカウントストアやドラッグストアでの買い物が多く、コンビニエンスストアの利用も多い。なぜ、それらの店を利用するのかという本単元の学習前の質問には、約8割が「近いから」、「安いから」と答えている。「買い物をするとき、どんなことを考えているか、見ているか」という質問には、ほとんどの児童が「お家の人は何をかうのか」などと答えている。これらのことから、販売における工夫という視点を持っている児童は少ないことが分かる。本単元を通して、消費者の願いと販売における工夫との関わりに関心を持つ児童を育てたい。</p>				

## 3 指導に当たっての留意点

- 本単元では、「期待を持ってみんなの顔が上がっている姿」をめざすため、買い物に関するアンケートを取り、児童にとって身近なお店や内容を取り上げ、学習課題等必然性のある学習を仕組んでいく。
- 本単元では、「『分かった』や『なるほど』をつぶやく姿」をめざすため、インタビューの内容等について、児童同士で意見を出し合い、見学、調査する際の視点を明確に持たせて、店員やお客さんへのインタビューを行う。また、販売におけるそれぞれの工夫について、工夫されている理由を常に考えさせ、消費者と販売する側の相互関係を意識させる。
- スーパーマーケットだけでなく、さまざまな商店における工夫について関心を持つ児童を育てるため、単元の後半では、コンビニエンスストアにおける販売の工夫を取り上げる。

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

スーパーマーケットの販売の工夫や生活経験と関連付けながら、コンビニエンスストアにおける販売の工夫について自分の言葉で表現することができる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>①スーパーマーケットでの販売の工夫を振り返る。</p> <p>②コンビニエンスストアの利用状況や売り上げについて知る。</p> <p>◇習い事の帰りに、よくコンビニに行っているよ。</p> <p>◇近くにたくさんあるからよく行くと思う。</p> <p>◇コンビニのおにぎりは、こんなに売れているんだ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【学習課題】</b> どうして、みんなはコンビニエンスストアによく行くのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【めあて】</b> みんながコンビニエンスストアで買い物をしたくなるひみつを見つけよう。</p> </div>	<p>○スーパーマーケットでまとめた“くふうカード”を使ったり、全体で確認したりしながら、これまでの学習を振り返る。</p> <p>○事前の買い物アンケートの結果やコンビニエンスストアにおける商品の売り上げを示し、スーパーマーケットと並んでコンビニエンスストアで買い物をする回数が多いことを確認する。</p>
展開	32分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①スーパーマーケットでの学習や自分の買い物経験を基に、コンビニエンスストアで買い物をしたくなるひみつを考える。</p> <p>◇どこにでもあるから、ドライブやお出かけのときなどに利用しやすい。</p> <p>◇お弁当やスイーツなどの食べ物だけでなく、切手や文房具など、たくさんの商品がある。</p> <p>◇新発売の商品がたくさん出ている。</p> <p>◇お店が明るくて、夜でも入りやすい。</p> <p>②1人1人考えたことを基に、グループで意見を交流する。</p> <p>③コンビニエンスストアの店長が考える、お客さんが買い物をしたくなるひみつの写真について考察する。</p> <p>◇1番の写真は、商品をきれいに並べていることがひみつだと思う。</p> <p>◇11番の写真は、何のひみつだろう。パソコンの画面に天気の出ているよ。</p> <p>④班で話し合ったことを、全体に広げる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【期待される学びの姿】</b> コンビニエンスストアを利用したくなる理由を見つけて、消費者の願いに応じたお店側の販売の工夫に気付いている。</p> </div>	<p>○消費者の立場として考えることを明確にして考えるようにする。</p> <p>○自力解決の場面では、付箋に書きためる。</p> <p>○コンビニエンスストアでの買い物経験が少ない児童などに対しては、ヒントカード(写真)を用意しておく。</p> <p>○グループで意見交流をすることで、買い物をしたくなるひみつを、さまざまな視点から捉えるようにする。</p> <p>○コンビニエンスストアの店長が考える集客のひみつを紹介することで、販売の工夫について理解を深め、新たな問いを持つようにする。また、配付した写真に付箋を貼ることで、自分たちが考えたひみつと店長の考えとの共通点や相違点を可視化する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【具体の評価規準】 思一②</b> ○買い物の経験やスーパーマーケット、資料などを参考にしながら、コンビニエンスストアを利用しやすい理由について考えている。(方法：発言・ワークシート)</p> </div> <p><b>【到達していない児童への手立て】</b></p> <p>○既習事項を振り返ったり、友だちの発言の意図を問うたりしながら、販売者の工夫について、その理由を考えることができるようにする。</p>
終末	8分	<p>3 学習のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【まとめ】</b> みんながコンビニエンスストアで買い物をしたくなるひみつは、( 買う人が飽きないように、新商品をたくさん出している ) からではないかと思う。</p> </div> <p>◇コンビニエンスストアをよく使うのは、スーパーマーケットと同じように、ひみつ(お店の人の工夫)があるからだ。今日分からなかったひみつを、店長さんに聞いてみたいな。</p>	<p>○コンビニエンスストアの店長をゲストティーチャーとして招き学習することを伝え、次時への意欲を高める。</p>

【板書計画】

<p><b>めあて</b> みんながコンビニエンスストアで買い物をしたくなるひみつを見つけよう。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 20px auto; text-align: center; padding: 5px;"> <p>(買い物アンケートの結果)</p> </div>	<p><b>まとめ</b> みんながコンビニエンスストアで買い物をしたくなるひみつは、( 買う人が飽きないように、新商品をたくさん出している )からではないかと思う。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>写真①</td><td>写真②</td><td>写真①</td><td>写真②</td></tr> <tr> <td>写真③</td><td>写真④</td><td>写真③</td><td>写真④</td></tr> <tr> <td>写真⑤</td><td>写真⑥</td><td>写真⑤</td><td>写真⑥</td></tr> <tr> <td>写真⑦</td><td>写真⑧</td><td>写真⑦</td><td>写真⑧</td></tr> <tr> <td>写真⑨</td><td>写真⑩</td><td>写真⑨</td><td>写真⑩</td></tr> <tr> <td>写真⑪</td><td>その他</td><td>写真⑪</td><td>その他</td></tr> </table> <p style="margin-top: 20px;">※自分が考えたひみつと関係のある写真に付箋を貼る。各班のシートを掲示することで、自分たちが考えた秘密と店長の考えとの共通点や相違点を可視化する。店長に聞いてみたいという意欲を高める。</p>	写真①	写真②	写真①	写真②	写真③	写真④	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧	写真⑦	写真⑧	写真⑨	写真⑩	写真⑨	写真⑩	写真⑪	その他	写真⑪	その他
写真①	写真②	写真①	写真②																							
写真③	写真④	写真③	写真④																							
写真⑤	写真⑥	写真⑤	写真⑥																							
写真⑦	写真⑧	写真⑦	写真⑧																							
写真⑨	写真⑩	写真⑨	写真⑩																							
写真⑪	その他	写真⑪	その他																							

【ICT活用計画】

児童による調べ活動時の活用計画，教師による教材提示の計画
<p>【追究活動（調べ学習）】タブレットパソコン</p> <p><b>情報収集</b> 売場，働く人，施設の工夫の3つの視点でグループごとに分かれ，スーパーマーケットを見学，調査したり，店員やお客さんにインタビューしたりして，販売の工夫等について調べる際に，タブレットパソコンを使用して店内等の写真撮影，店員さんの動画撮影をする。</p> <p>【単元や学習の導入場面】電子黒板</p> <p><b>教材提示</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットやコンビニエンスストアでの買い物体験を想起しやすくするために，校区内にある店舗の様子などを拡大提示や比較提示して課題意識を生むようにする。</li> <li>・児童にとってより身近な学校からお店までの道のりを動画撮影して提示することで，空間的に把握しやすいように提示する。</li> </ul>

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

単元の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む										
<p>【熊本県学力調査より】過去問題</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H24大問</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> </tr> <tr> <td>H25大問</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> </tr> <tr> <td>H25大問</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> </tr> </table>	H24大問	3	4	H25大問	4	5	H25大問	4	5	<p>※ 販売者の立場や消費者の立場になってインタビュー形式で記述する問題に取り組むことができる。</p> <p>※ 他地域との関りについて問う問題を通して，空間的に捉えることができる。</p>
H24大問	3	4								
H25大問	4	5								
H25大問	4	5								